

うちなだ 議会だより

みんな仲良し
春が来た!

Vol. 129

平成29年(2017)

5月2日発行

石川県内灘町議会



二期目就任に期待！

新年度は五つの重点目標を柱に



川口 克則 町長

(平成29年3月会議提案理由説明より要約)

今後の四年間は、北部開発の具現化や定住促進、観光振興と交流人口拡大のための事業に重点を置き公約の実現に向け全力で取り組んでまいります。

平成29年度は、「第5次内灘町総合計画」及び「内灘町まち・ひと・しごと・創生総合戦略」に基づき「子育て・教育」「福祉・環境」「安心・安全」「産業・観光」「定住促進・北部開発」を柱に予算を編成いたしました。

高齢社会の進展とともに社会保障費の増加や公共施設に係る維持管理費の増加が見込まれるなど今後も引き続き、自主財源の確保に努め、事業の「選択と集中」による国、県の補助金や有利な起債を活用し、町の財政状況を見極め町民の皆様の負託に応えて行財政運営を進めてまいります。



— 目次 —

2 二期目就任に期待！

4 3月会議

魅力発信 新規事業

6 白帆台小学校開校に向けて 平成29年度当初予算

8 機能別消防団員制度の導入

9 サイクリングターミナル増築工事に約2億円
平成28年度補正予算

9 賛否の分かれた議案一覧

10 請願・意見書の審査討論！

11 一般質問 8人が登壇

20 委員会レポート

21 ありゃーどうなつたがいねー

22 街かどインタビュー 大根布 山本吉幸さん

表紙のこぼれ

「みんな仲良し

春が来た！」

桜満開の鶴ヶ丘神社へ仲良く手を
つないでお散歩しました。

(鶴ヶ丘保育園)



ひらけゆく内灘

住んでもあんしん

3月会議
2日～16日

新規事業

西荒屋小学校英語教育活動費
30万円



平成29年3月会議が開催され、平成28年度補正予算、平成29年度当初予算のほか、条例、請負契約の締結など計24議案を審議し、すべて原案のとおり可決しました。

内灘海水浴場
設置運営事業費
425万円



町立保育所
保育室拡大事業費 400万円
防犯カメラ設置事業費 100万円



平成29年度

来てもあんしん

魅力発信



向栗崎公民館改修工事
工事費 1000万円
実施設計業務委託費 50万円



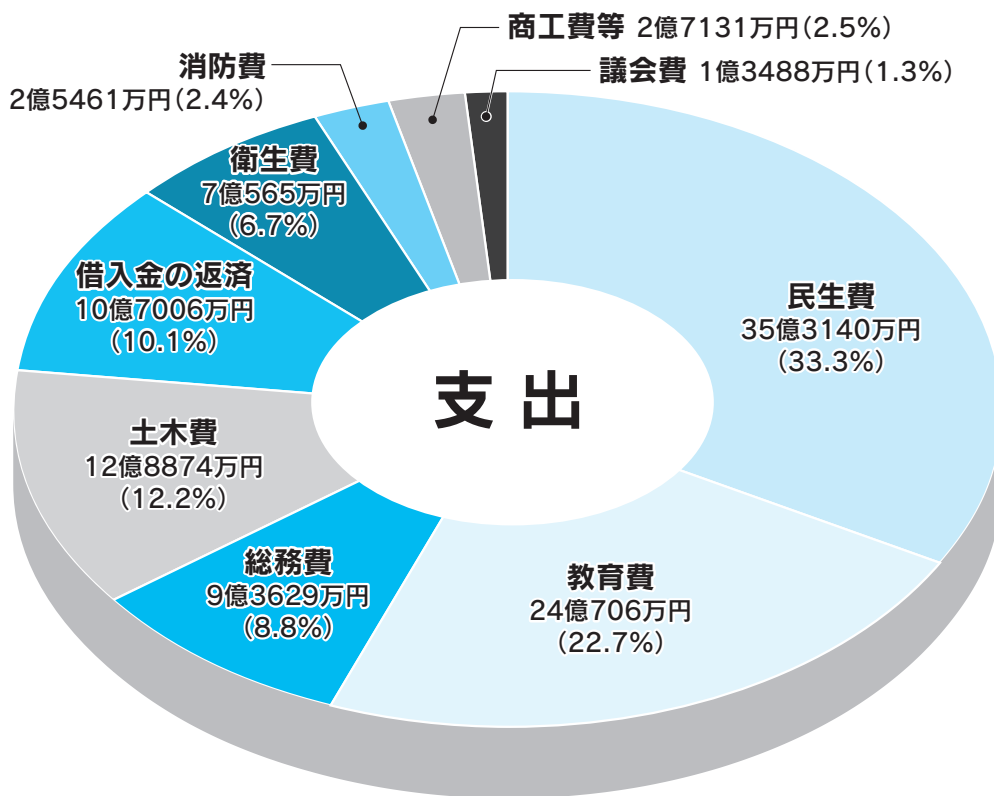
千鳥台公民館耐震補強事業
工事費 4000万円
実施設計・監理業務委託費 320万円

その他の主な事業

庁舎公衆無線LAN整備事業	64万円	水道施設整備計画調査事業	1000万円
防災資機材整備費補助金	170万円	水道管路管理システム導入事業	2000万円
町地域防災計画修正業務	340万円	小学校3・4年生社会科資料集作成	113万円
県地域防災計画の改正に合わせた町地域防災計画の見直し		「わたしたちの内灘」3年に一度作成	
防犯対策事業	460万円	小学生対象の土曜学習プログラム	49万円
北部学童保育クラブ移転事業	190万円	屋内温水プール非構造部材耐震計画・設計	432万円
成人個別歯科検診	64万円	西荒屋小学校体育館バスケットボード改修工事	70万円
農地耕作条件改善事業負担金	690万円	鶴ヶ丘テニスコートフェンス改修工事	500万円
大根布・向栗崎七町歩畑地かんがい施設整備工事		サイクリングターミナル既存部分改修設計委託費	50万円
耐震改修促進計画修正業務	120万円	貝放流事業補助金	24万円
宮坂17号線道路整備事業	350万円	コタマガイを生育環境の良い場所に放流	
西荒屋室24号線道路整備事業	1300万円		

開校に向けて

小学校建設費 15 億 376 万円を可決し、
建設費の総額では 25 億 7648 万円となりました。



主な支出の対前年度比

項目名	前年度予算額	前年度比※
民生費	39億6251万円	89.1%
教育費	18億1292万円	132.8%
土木費	11億1613万円	115.5%

※前年度を 100 とした場合

町民一人あたりの予算

39万4287円 (一般会計)

平成 29 年 3 月末

人口 26,884 人 (前年度比 - 13 人)

町の貯金と借金 3月補正後 (平成 28 年度末見込)

■ 貯金 (基金) の残高

財政調整基金	6億4000万円
公用、公共用施設整備基金	1億5616万円
義務教育施設整備基金	2億8954万円
土地開発基金	1億 256万円
その他の基金	1億8578万円
一般会計基金の計	13億7404万円

■ 借金 (地方債) の残高

総務関連事業債	10億2776万円
民生関連事業債	6億4296万円
衛生関連事業債	7213万円
土木関連事業債	19億8775万円
教育関連事業債	22億4227万円
臨時財政対策債	42億9736万円
その他の町債	11億 573万円
一般会計町債の計	113億7596万円

町民 1 人あたりの貯金

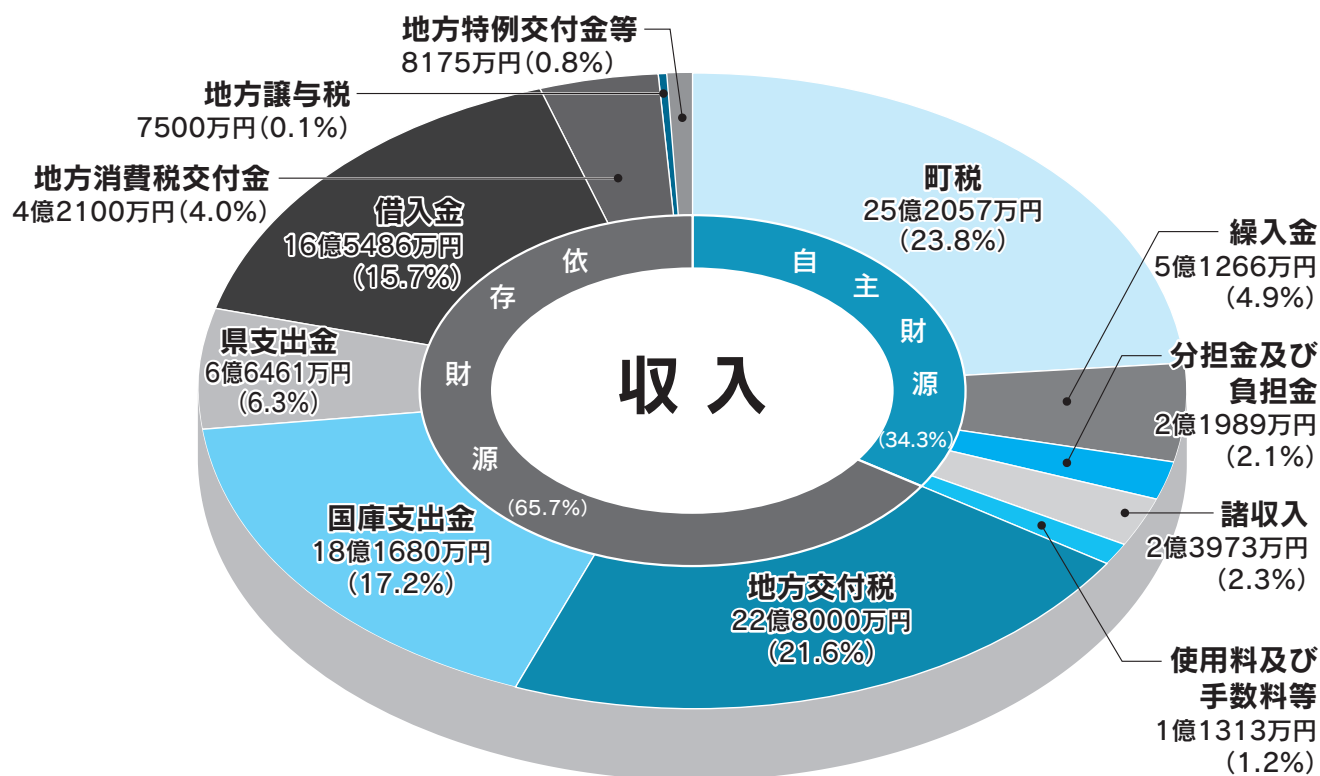
5万1110円
(前年度比 103.8%)

町民 1 人あたりの借金

42万3150円
(前年度比 112.5%)

白帆台小学校

一般会計総額 106億円



主な収入の対前年度比

項目名	前年度予算額	前年度比※
町税	25億873万円	100.5%
国庫支出金	14億355万円	129.4%
借入金	20億4525万円	80.9%

※前年度を100とした場合

平成29年度特別会計 総額80億4288万円

会計名		予算額	前年度予算額	前年度比※
特別会計	公共下水道事業	18億1710万円	19億 130万円	95.60%
	新エネルギー事業	4800万円	4800万円	100%
	国民健康保険	32億6500万円	33億4700万円	97.6%
	後期高齢者医療	2億4590万円	2億3490万円	104.7%
	介護保険	18億3000万円	18億円	101.7%
水道事業会計		8億3688万円	7億3375万円	114.1%
合 計		80億4288万円	80億6495万円	99.7%

※前年度を100とした場合



建設がすすむ白帆台小学校

機能別消防団員制度の導入

条例の改正等

小規模企業振興基本条例

(全員賛成)

小規模企業の振興に関する基本理念と基本施策を定め、町の責務と、事業者及び町商工会の役割等を規定。

個人情報保護条例等の一部を改正する条例

(賛成10人 反対2人)

町が独自にマイナンバーを利用する場合も、情報提供ネットワークシステムを利用した情報連携を可能とする等。

税条例等の一部を改正する条例

(賛成10人 反対2人)

法人住民税法人税割の税率引下げと軽自動車税のグリーン化特例を1年延長等。

ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例

(全員賛成)

児童福祉法の一部改正に伴う、引用条項の整理。

長寿祝い条例の一部を改正する条例

(全員賛成)

長寿祝券(金)の対象者に、引き続き1年以上の住所要件を加える。

国民健康保険税条例の一部を改正する条例

(賛成10人 反対2人)

国保税率の引上げ。

霊園条例の一部を改正する条例

(全員賛成)

合葬式墓地で、生前予約者が利用しやすい項目を追加。

消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例

(全員賛成)

消防力の強化を図るために機能別消防団員制度を導入。分団長以下の定年制を廃止。

(仮称)高齢者いきいき健康センター整備基金条例を廃止する条例

(全員賛成)

ほのぼの湯の整備完了により、条例を廃止。



長年の経験を活かして

請負契約の締結

(全員賛成)

内灘町浄化センター 1-1-1

OD曝気装置更新工事

契約金額 1億2744万円

(株)石垣 大阪支店

白帆台小学校建設工事

(プール建設工事)

契約金額

8245万4760円

大三建設(株)

内灘中学校空調設備設置工事

契約金額

5853万3840円

第一電機工業(株)

道路線の変更

(全員賛成)

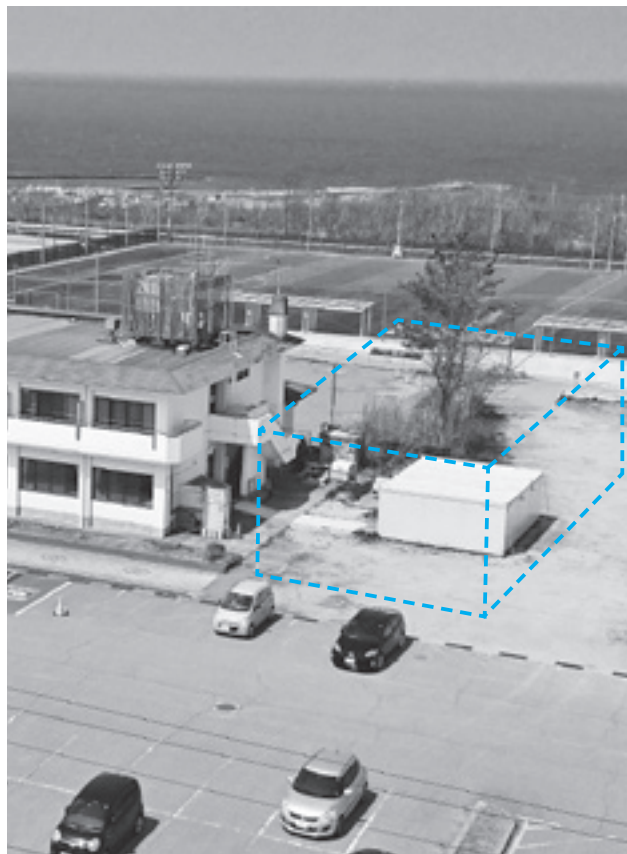
道路改良事業による変更。

路線名 西荒屋室24号線

西荒屋室25号線

宮坂17号線

サイクリングターミナル 増築工事に約2億円



客室 18 室が増築されることに。

平成28年度補正予算 一般会計補正予算(第6号)

(賛成10人 反対2人)
3億5915万9千円を増額し、
総額112億8313万4千円
としました。主な内容は、サイ
クリングターミナル整備事業と
して1億9970万円を計上。
※21ページに関連記事

公共下水道事業特別会計補正 算(第4号)

(全員賛成)
事業の確定見込により、301
6万6千円を減額し、総額17億
4320万円としました。

水道事業会計補正予算 (第1号)

(全員賛成)
事業の確定見込により、545
万4千円を減額し、総額7億2
829万5千円としました。

審議結果一覧

3月会議で
賛否の分かれた議案一覧

議 案	氏 名	米田	磯貝	七田	太田	生田	川口	藤井	恩道	北川	夷藤	清水	中川	南
		一香	幸博	満男	臣宣	勇人	正己	良信	正博	悦子	満	文雄	達	守雄
議案第1号	平成28年度内灘町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	—	○	○	○	×	○	×	○	○
議案第4号	平成29年度内灘町一般会計予算	○	○	○	○	—	○	○	○	×	○	×	○	○
議案第7号	平成29年度内灘町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	—	○	○	○	×	○	×	○	○
議案第12号	内灘町個人情報保護条例等の一部を改正する条例について	○	○	○	○	—	○	○	○	×	○	×	○	○
議案第13号	内灘町税条例等の一部を改正する条例について	○	○	○	○	—	○	○	○	×	○	×	○	○
議案第16号	内灘町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	—	○	○	○	×	○	×	○	○
請願第14号	指定給水装置工事事業者制度に更新制の導入を求める意見書の提出を求める請願書(審議の継続に対する賛否)	○	○	○	○	—	○	×	○	○	○	○	○	○

○は賛成、×は反対、—議長は採決に参加しません。

平成28年中に内灘町議会を傍聴された方は245人でした。

	1月会議	3月会議	臨時会	5月会議	6月会議	7月会議	9月会議	11月会議	12月会議	合計
平成28年	2人	64人	—	1人	32人	1人	101人	2人	42人	245人
平成27年	—	74人	3人	—	53人	2人	53人	—	54人	239人

平成28年中の町ホームページ議会へのアクセス件数は4,939件でした。

請願と意見書の審査

請願

審査継続 ※

指定給水装置工事事業者制度に更新制の導入を求める意見書の提出を求める請願書

(審議の継続に賛成11人、反対1人)

◎請願者

公明党内灘支部

◎紹介議員

土屋 克之
藤井 良信

要旨

指定給水装置事業者制度では不適格事業者を排除し、継続的なメンテナンスを確保させる必要がある。建設業と同様に現行制度に更新制を導入することを求める。



意見書

可決

北朝鮮による核ミサイル問題および日本人拉致問題の早期解決を求める意見書の提出について

(全員賛成)

◎提出議員

恩道 正博
川口 正己

◎賛成議員

太田 臣宣

要旨

・国際社会との連携を一層密にし、北朝鮮に対して国連決議の遵守を平和的に働きかけるとともに、北朝鮮における核・ミサイル問題の早急な解決を図ること。
・あらゆる手段を通じ、日本人拉致問題の早期解決を図り、拉致被害者の一日も早い救出を実現すること。

※審査継続

3月の審議期間中に議決に至らなかったため、次の審議期間まで審査を継続することになったもの。

討論!

可決

議案103号平成28年度一般会計補正予算(第6号)

歳出13款諸支出金2項基金費1億2288万円の財政調整基金への繰り入れ

原案に反対

清水 文雄

高齢社会に向け目的基金等への積み立てが必要。何でも使える財政調整基金への繰り入れに反対。

原案に賛成

夷藤 満

展望温泉ほのぼの湯完成と共にこの基金を積み崩すというところでこれまで何度も議論してきている。

原案に反対

清水 文雄

中途半端なインター整備より、今は我慢をしてフルインターを目指すべき。

原案に賛成

夷藤 満

金沢市への通勤通学のためにも里山海道につながるアクセスルートが必要である。

議会事務局新体制

4月より2名の新メンバーを迎えスタートしました。宜しく願います。



・棚田 進 事務局長
・小坂しおり 書記

議会を傍聴しませんか

次の定例会議は6月に開催されます。詳しくは、町ホームページをご覧ください。

傍聴の受付は当日、庁舎3階のエレベーター横で行なっています。

議会事務局

TEL 286-6715

一般質問 (3月6日)

市政も問う

8人が登壇

一般質問とは、議員が町政全般にわたり、その執行状況または将来の方針、政策的提言や行政への批判などを執行機関に直接問うものです。

質問と答弁の詳細は町ホームページ→議会→議会録画中継でご覧ください。

恩道 正博 12

- 平成29年度予算について
- 子育て支援策について

太田 臣宣 13

- 町公共施設の維持管理体制について
- 町の高齢者福祉計画について

ほか1問

磯貝 幸博 14

- 産学官連携事業の推進を
- 学校運営の将来展望を示せ

藤井 良信 15

- 水道事業の強化について
- ESD推進の取り組みについて

北川 悦子 16

- 障がいのある人達の思いと支援策
- 子育て支援策の充実を

ほか1問

米田 一香 17

- 社会インフラの整備と維持管理について
- 食物アレルギー対応について

ほか1問

七田 満男 18

- 町の観光ビジョンについて
- 水道の配水管の耐震化、延命化対策を示せ

清水 文雄 19

- コンフォモール内灘のにぎわい創出について
- 2017年度予算案について

ほか1問

題字 上野雅子さん(西荒屋)



予算編成の基本方針は 北部開発関連事業に重点

町長



恩道 正博

【答】 町総合計画に掲げた将来像実現に向け、北部開発関連事業に予算を重点的に配分した。
学校、公民館等の教育施設のほか、消雪施設や道路新設改良事業などのインフラ整備を推進する。

【答】 財政状況は厳しいが、限られた財源を最大限有効に活用し、メリハリのあつた予算配分を行ない、総合計画に掲げる重点プロジェクトに基づき事業を着実に進める。

【問】 平成29年度予算は、一般会計で前年度比0.7%増の106億円。
川口町政2期目の最初の年となる新年度当初予算編成の基本方針は。

【問】 第五次総合計画に掲げている「安全安心」「定住促進」「北部開発」「健康増進」「にぎわい創出」の5つの重点施策の推進に向けた今後の財政運営を問う。



着実にすすむ北部開発

保育施設

【問】 平成29年度の町内保育施設入所予定児童数は。

【答】 町立2カ所は定員210名に対し179名、私立7カ所は定員910名に対し876名が入所予定。

2歳児78%、3歳児92%、4歳児94%、5歳児93%。
平成29年3月では、0歳児の割合が51%と年々増加している。

【問】 育児休暇を終えた年度途中からの未満児の入所状況は。

【問】 現在の0歳児から5歳児の利用割合は。

【答】 平成29年2月末で55名。未満児保育は年々増加しており、向栗崎保育所で未満児の保育室を増設する。



桜の下で（鶴が丘保育園）



快斗さん



太田 臣宣

公共施設長寿命化の計画を示せ

計画の策定や見直しを進める 総務部長



新しいコミュニティ施設（大根布地区）

問 既存の公共施設の維持管理が重要な課題だ。町の公共施設はどれくらいあり、耐震化率はどうか。また今後の取り組みを示せ。

答 主要な建物が52施設あり、うち耐震改修が必要な施設は5施設で耐震化率は約90%。平成29年度に千鳥台公民館の耐震工事を予定し、その他の施設も計画的に進める。

問 施設を長く利用していくためにコストや修繕計画をしっかりと作成することが今後必要となってくる。長寿命化計画はいつ示すのか。

答 既に策定済みものもあるが、今後は財政状況も勘案し、町公共施設等総合管理計画の方針に沿って、施設の長寿命化計画の策定や見直しを進めていく。

高齢者福祉計画

問 現在、認知症等の見守り事業はどのように進んでいるか。

答 認知症高齢者やその家族を見守る支援者を増やすための認知症サポートー養成講座を開催し、見守りマップづくりの支援も行なっている。

地域住民の協力を得ながら、さらなる施策の推進と継続が必要と認識している。



みんなでワツハツハ（貯筋体操）

問 町の第6期介護保険事業計画が平成29年度で終了するが、小規模特養施設の計画状況を示せ。

答 需要を考慮し、現在整備を見合わせているが、第7期介護保険事業計画で引き続き検討を重ねる。

問 第7期介護保険計画はいつ示されるのか。

答 平成29年度中に示す。

その他の質問

問 空き家リフォーム助成制度を設けよ。
答 近隣市町の動向を見据え引き続き検討する。

産学官連携を推進せよ

必要な事業は積極的に取り組む 町長



磯貝 幸博

問 産学で開発された技術を積極的に調査し、町(官)も連携すべきだ。

答 地方創生を進める上で、産学官のほか金融機関等も連携し、地域が一体となった取り組みは必要だ。健康いきいきプロジェクトでは、町と金沢医科大学、NPO法人ブラッツうちなだ、(株)エイムの産学官が連携している。今後も産学官の

答 具体的な申し出があれば検討したい。

問 世界の風の祭典でドローン※を導入できないか。ドローンの空撮映像を、平成30年の30周年記念大会のプロモーションに使用せよ。海岸での利用には、国や県に対する町からの後押しが必要だ。

連携が必要な事業は積極的に取り組む。



新しい目線を



笑顔をいつまでも (鶴ヶ丘小学校卒業式)

小学校の将来展望

問 白帆台地区の児童数は増加しているが、他地区は減少が見込まれる。対応策を示せ。

答 人口減少対策では、定住促進施策、子育て支援施策など多くの事業を行なっている。特色ある学校づくり、きめ細かな教育と、白帆台小学校建設などの学校施設の整備にも取り組んでいる。

問 よりよい教育環境を平等に提供することが行政の使命だ。校区の見直しや学校の統廃合の考えはあるか。

答 校区は教育委員会が通学区域審議会に諮問し、その答申を受けて定めるが、現在のところ見直す必要はないと考える。人口を増やす施策を盛り込んでおり、統廃合も考えていない。



※ドローン

遠隔操作や自動制御によって飛行できる小型の無人飛行機。手軽に空撮が楽しめる。今後は配達をはじめ、農業、防災、土木工事など幅広い活躍が期待されている。





藤井 良信

水道事業の見通しを示せ

40年間の需要を試算した 町長



水はあしたを育てる

問 水道施設の適切な資産管理を推進する上で欠かすことのできない水道台帳の整備状況を示せ。

答 現在は、固定資産管理システムにより管理、運用を行なっている。

水道管を対象とする平成29年度の予算計上では、台帳の再構築や利用者の利便性を高めるため、管路地図情報システムを導入する。

問 水道事業での中長期的な更新需要と財政収支の見通しを把握するには

アセットマネジメント※が必要であるが町での対応はどのようなものか。

答 平成27年度にアセットマネジメントの基本計画を策定した。施設、設備では平成66年度までの約40年間の更新需要の試算を行ない施設整備を進める。

ユネスコスクール

問 ESD※推進の取り組みから「子ども内灘検定」の導入を提案する。

答 平成26年に、町の歴史や自然を学ぶ「うちなだ検定」を考案した。公民館での学習会などで活用をお願いしている。

「子ども内灘検定」の導入に向けては、学びながらふるさと愛を醸成できよう導入に向けて内容の充実に努めていく。



日本海を臨む（サンセットブリッジより）

問 「内灘町ユネスコスクールの日」の制定を提案する。

答 ESD先進地では、これまでの学校中心の取り組みから、学校を拠点とした地域活動へと発展させる狙いがあると聞いている。

「内灘町ユネスコスクールの日」の制定は、先進事例を参考に調査研究していききたい。

※ESD

持続可能な開発を促進するため、地球的な視野をもつ市民を育成することを目的とする教育。
2002年に開催された国連の世界首脳会議で、日本が提唱し「ESDの10年」が採択された。

※アセットマネジメント

持続可能な公共事業を実現するため、中長期的な観点に立ち、限られた財源や資源で、効率的かつ効果的に公共施設を管理運営していくためのマネジメントシステムのこと。
いわゆる資産管理。



自立支援協議会の現状を問う

定期的に情報共有している 福祉課長



北川 悦子

問 障がい者に関する法律（虐待防止法、差別解消法、成年後見制度促進法）施行後の取り組みと、自立支援協議会の現状を問う。

答 虐待防止法の施行後、福祉課内に障害者虐待防止センターを設置し、4件の通報事例を受けた。差別解消法では、平成28年度中に職員対応要領を策定し、施行に向け準備している。



うちなだまるごとフェスタ プレ企画ー

問 移動支援※にグループ支援を認めよ。

答 他自治体の事例を参考に調査研究したい。

成年後見制度利用促進法では、低所得者にかかる成年後見人利用支援事業を行なっている。自立支援協議会は、定期的に情報共有する場として、年に一、二回開催。



元気に育て

子育て支援

問 国は、要保護世帯の入学準備費用の補助単価を約2倍に引き上げた。町独自で準要保護世帯の入学準備費用も同様に引き上げよ。また、引き上げた場合の財政負担額を問う。

答 県内自治体の動向を調査、検討する。負担増加額は、受給者61人、補助単価を国と同額とした場合、約130万円。

問 給食費の無償化が全国的に広がっている。中能登町では、平成28年に第2子以降無料とした。町の考えを問う。

答 平成28年度は約1億4000万円の食材費を給食費として徴収した。経済的に困難な家庭には就学援助費として給食費の約6割を支出し、負担軽減を図っている。給食費無償化の考えはない。

※移動支援

移動が困難な人に対してヘルパーが行なう外出支援サービス。障害者総合支援法に基づく生活支援事業サービスの一つで、個別支援型・グループ支援型・車両移送型の支援方法がある。



その他の質問

問 住宅リフォーム助成で地域経済活性化を。 **答** 平成29年度は予定していない。



米田 一香

行政の透明性確保を図れ

わかりやすい情報提供に努める 総務部長



老朽化比率を公開せよ

問 町民は町の財産である公共施設の情報を知る権利がある。わかりづらい情報をわかりやすく示すのが行政の役目だ。町民への説明責任を果たし、行政に対する関心を高めることは、積極的なまちづくりへの参加を促すことにつながる。

施設老朽化比率※の公開、行政コスト表示板作成で、情報公開の徹底と行政の透明性確保を図れ。

答 取得価格の把握が難しい施設は、国の指針に基づき標準価格から算出する場合もあり、必ずしも町の実情に即したものととはならず、公開することがかえって混乱を招く可能性がある。

そのため老朽化比率の指針にとらわれず、わかりやすい情報の提供に努める。

周知方法には、より効果的な方法を検討する。

問 平成25年度から28年度まで、小学生が17名から24名で増加傾向、中学生は3名のまま横ばい。保育施設では、平成24年度39名から、28年度79名と約2倍に増加した。

問 アレルギ―疾患は近年、先進国ほど急増し、子供に特に多い食物アレルギーも増加している。町の、食物アレルギーをもつ子どもの実態は。

食物アレルギー対応



安全でおいしい給食

問 食育と合わせ、食物アレルギーの理解を深める健康教育を実施せよ。

答 学校と相談し、検討したい。

問 これまでの対応は。

答 町独自のマニュアル作成、教職員や保育職員の研修会、主治医や消防との連携で、急変時に備えている。

その他の質問

問 役場庁舎正面玄関の喫煙所の撤去を。

答 正面玄関と1階西玄関の喫煙所は撤去する。

※施設老朽化比率

公共施設の取得金額に対する減価償却累計額の割合。(例 施設の取得金額が1億円、減価償却額が5000万円の場合の老朽化比率は50%。)



駅周辺整備構想に観光案内所を

設置を検討する 町長



七田 満男

問 町の観光行政の現状と観光ビジョンを示せ。

答 観光振興の推進は、交流人口の拡大による消費活動の増加や新たな雇用の創出など、地域経済を活性化する効果がある。町では、世界の風の祭典などの観光資源を生かしたイベントの開催や、ミルク王国ウチナダの特産品開発を通して町の魅力発信に努め、交流人口

答 内灘駅の機能強化に加え、観光案内所の設置も検討する。

問 駅周辺整備構想に観光案内所の設置も組み入れよ。

の拡大を目指してきた。5つの観光拠点（海岸、駅前、眺望、観光農園、体験農業）を重点的に整備し、海岸拠点と駅前拠点の整備から着手したい。



ガイドさん活躍中

水道管の延命化

問 水道事業は今、全国的に大きな変化に直面している。その一つは、水道施設の老朽化対策、耐震化対策だ。

水道管の法定耐用年数は40年だが、町は、耐用年数を経過した管路の検査を実施しているのか。

答 老朽管を含む水道管の検査は、町全域に対して5年サイクルで漏水調査を実施している。

問 水道の長寿命化や延命化対策に対する見解は。

答 水道管の更新時に長寿命化を図るため、壊れにくく腐食に強いポリエチレン管やポリエチレンスリーブ防食法を採用したダクタイル鋳鉄管を使用している。

延命化事業実施は、国及び他市町の動向や新技術に注視しながら調査研究を行なう。



スリーブ防食法で長持ち



ミツバちゃん



清水 文雄

にぎわい創出の全体像が見えない

事業者と情報交換している

都市整備部
担当部長



開発の全体像が見えない（コンフォモール内灘Cゾーン）

問 コンフォモール内灘Aゾーンへのサーモンプラント会社の進出は、総事業費11億円の大きな事業であり期待している。一方、クスリのアオキ跡のCゾーンは手つかずだ。コンフォモール内灘は商業地域だが、にぎわい創出への全体像が見えない。町はコンフォモール内灘のにぎわい創出へ、どのような構想を描いているのか。

答 事業者である（株）エスポアが、これまでの事業計画を継承し商業施設の誘致を進めているが、いまだ誘致には至っていない。
町の都市計画マスタープランでも、商業ゾーンとして位置づけているところでもあり、にぎわい創出に向け有効な活用ができないか事業者に情報提供し、情報交換を行っている。

今後の基金のあり方

問 町の基金は、一般会計分で平成28年度末残高、総額16億2100万円が9億9900万円になる見込みだ。2025年問題※もあり、今後も扶助費増、国保会計や介護保険会計の支出増が続く。高齢者いきいき健康センター整備基金の廃止後は、超高齢社会へ対応するために、高齢者福祉基金への積み立てか、新たな基金の創設が必要だ。

答 ほのぼの湯の完成で当初の目的が達成できたため基金を廃止する。今後は、高齢者施策を推進する上で、新たな施設の整備計画がより具体化した段階で、目的に即した基金の設置及び積み立てを検討したい。
超高齢化社会を迎え、社会保障費も増額となる目的基金・高齢者福祉基金等への積み立ても検討したい。

その他の質問

問 給食費の無償化で子育て支援を。
答 現在は、食料費分だけはいただく考えだ。

※2025年問題

約800万人と言われる団塊の世代（1947～49年生まれ）が後期高齢者となり、少子高齢化問題にさらに拍車がかかることで生じる多くの問題を表した言葉。



リニューアル 展望温泉ほのぼの湯

総務産業
建設常任
委員会

(防災コミュニティセンター)

ほのぼの湯 看板が見えない

展望温泉ほのぼの湯（１階は防災コミュニティセンター）、地域防災センター、消防団第４分団格納庫、室地区ほ場整備事業室地区県道拡幅事業の町内視察を行なった。

ほのぼの湯関連

問 金沢方向から来た際に看板が見えない。

答 どの方向から来ても分かりやすく見える工夫をする。

問 後ろの崖下住宅地への飛砂対策をすべき。

答 砂地部分は芝生にする等の検討をする。

問 多くの方の利用が見込めるが、対策は。

答 オープン当初は混雑が予想されるため、警備員の配置など安全面に対し検討する。

その他の質疑・意見

問 内灘町公共施設等総合管理計画が策定された。平成29年度に新たな公共施設が完成するが、資料中のデータの更新は。

また、今後の見直しは。

答 計画は状況変化などにより改定を行なう。

今後はこの基本方針を元に全庁的なプロジェクトチームを作り、財政状況も踏まえ、中長期的な施設の個別管理計画を平成30年度中を目標に策定する。

問 平成28年12月から29年1月の北鉄浅野川線終列車臨時増便運行の結果は週末や祝前日の計8回で223人利用。今後は。

答 北鉄から継続は難しいと報告があった。



看板もっと工夫を

サイクリングターミナル

今後のスケジュールは

4月に実施設計の入札建築工事は8月に入札、9月の議会議決を得て着工し、来年3月に完成する計画である。

既存部分の改修は、平成29年度に補助申請を行ない、採択されれば平成30年度に着手したい。

その他の質疑・意見

問 保育所の防犯カメラの設置状況は。

答 平成28年度までに4ヶ所の私立保育園で設置済み。平成29年度に町内全9ヶ所の保育所、保育園で設置する予定。

問 長寿祝い条例の改正では、支給対象者の年齢階層が5段階であり、県内の他市町と比較して多い。3段階程度にまとめてはどうか。

答 平成29年度中に検討したい。

問 国民健康保険税条例の改正では、税率引き上げが平成24年度から続いているが赤字の解消につながっていない。

答 被保険者数の減少、医療費の高騰、平成30年度から県での一元化をふまえ、県の動向を注視し対応していく。

文教福祉
常任
委員会

問 小学校の特別支援員の賃金が減額になっている理由は。

答 減額補正は、支援員の退職による減額で、その後、募集をかけているが応募がない。



ツール・ド・のと

追跡

ありゃ～
どうなったがいね～

ターミナルの 大規模改修の考えは

東京オリンピックなどに参加する国内外のチーム合宿練習誘致を望むが、サイクリングターミナルの大規模改修の考えはあるのか。

平成 26 年 3 月会議

川口 正己

答 弁

宿泊施設の充実が必要

総合公園全体の宿泊施設について、サイクリングターミナルの改修も含め検討していく。

その後

平成 29 年 3 月 客室と食堂部分の増築計画を決定。

シングルルーム 12 室・ツインルーム 4 室・障害者対応 2 室を別棟で増築し、併せて食堂部分の増築も計画しています。



サイクリングターミナル

妊娠 40 週以降の妊婦 健診費用の軽減を図れ

出産予定日を過ぎて受診する妊婦健康診査の費用は妊婦の自己負担となるが、費用負担の軽減を図ることはできないか。

平成 27 年 9 月会議

米田 一香

答 弁

妊婦健診の回数をふやす方向で 検討したい

母子ともに健康で暮らせるよう母子保健のさらなる向上を目指す。

その後

平成 28 年 4 月から 出産予定日を過ぎた 妊婦健診費用を助成。

妊婦一般健康診査（全 14 回分）受診票のほかに、予定日を過ぎて受診した健診費用についても 3 回を限度に助成しています。



元気かな？ドキドキ

忘れ物 西村 宗



奨励賞 受賞
第31回全国町村議会広報
コンクール編集・デザイン
部門で入賞しました。

広報対策特別委員会
委員長 藤井 良信
副委員長 磯貝 幸博
委員 米田 一香
委員 七田 満男
委員 北川 悦子

生涯現役で生きがいあふれた生活を送れるよう、うちなだ議会だよりでも前向きな編集と、若者世代の声を発信していきたい。
〔藤井 良信〕

街かどインタビュー

「眺望も見事だった！」

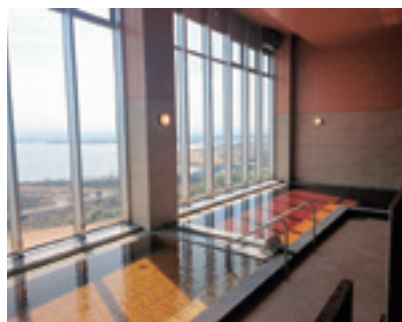
今ご紹介する方は、大根布の山本吉幸さん。4月5日のほのぼの湯営業開始時に一番乗りしていたので伺いました。



◆いよいよ営業開始、いっばん乗りですね。

◆まだかまだかと楽しみにしていました。

◆入浴してみたいか、たてしうか？



眺望がとても良いと聞いているので、ぜひ満喫したい。

◆体が温まり、硬くなる体をよくほぐしてくれる。湯加減も良く、自慢のお風呂だ。さっそく家内にも教えたい。ほのぼの湯がないときは別の銭湯を利用していました。これからまた、毎日利用しに来るよ。

◆紹介したい方がいるのはいいですね。

◆多くの温泉愛好家が噂を聞きつけてやってくるのではないかと、湯船からの眺望も見事だったが、2階の大広間からも素晴らしい。

◆ありがとうございます。
インタビュー 磯貝 幸博



◆町や議会に望むことは。◆以前はほのぼの湯で脳トレやリハビリを兼ねた運動の教室があったが、なくなると聞いて残念だ。ぜひ復活させてほしい。

編集後記

最近息の長い活躍を続けるアーティストの一人として「永遠の若大将」加山雄三さんの存在が象徴的だ。この4月に80歳を迎えた今も、若手らを交えて頻繁にコンサート活動を行っている。

年頭ある提言が話題に。「65歳としている高齢者の定義を75歳以上に改め、65歳から75歳は准高齢者として社会の支え手に」とする内容だった。

生涯現役で生きがいあふれた生活を送れるよう、うちなだ議会だよりでも前向きな編集と、若者世代の声を発信していきたい。

〔藤井 良信〕